

アラウンド

GOGO

55

「まる」を描く

河野美穂子



支援学校を早期退職して5年目を迎えようとしています。目指すは「学びの作業所づくり」なのですが、実績のないNPOには自立訓練事業に県からの許可がおりず、そうこうしているうちに生活苦で就労浪人に。スロースターターながら、寄り道したのが市の生涯学習指導員。

3月には、その職を卒業します。従来の高齢者学級という言葉のイメージが芳しくないとのこととで、願いを込めて「ライフスコラ生きがい学級」と改称しました。70〜90歳台が対象です。戦中戦後の混乱期で、学校でじっくり学べず、国の後方支援に駆り出され、その後も家族の生計を支えてこられた方々です。月1回の講座に雨の日も雪の日も通ってこられます。農業現役の方もいれば、地区の役員や老人クラブの奉仕活動に、グ

ランドゴルフや趣味に、と余暇活動を充実させ生きがいづくりにも励まれる方、中には、連れ合いの介護をしながら仲間と過ごすリフレッシュの場と位置づけている方もいます。まさに「生きる」を体現している現実があり、私もその「生き方」に学ぶ「ライフスコラ」です。小学生との交流では、戦争中のリアルを語っていただき、「本当に戦争はいけない」「平和を守るが一番」と訴え、介護保険制度の学習では、講師に向かって「とらればなしか!」「大事なことに税金を使ってほしい!」と迫ってみたり、シニアパワーを発揮している姿に勇氣をもらっています。認知症予防体操では、確かに手指は調子を狂わせ笑いの連鎖ですが、学びを続け変化しようとする姿が若々しいのです。

いよいよ4月からは、中高の不登校生の寄り場を始動させます。Iターンの移住者として、NPOづくりでつながってきた地域の人たちと、生涯学習の場で出会うことができたライフモデルを宝に、「人生っていつからでもどこからでもスタートできるよ」「ゆつくり小さな夢をかなえつなげながら、生きることの意味探してできるよ」って伝えたいと希望に胸を膨らませています。

ちなみにNPOの名前は、「心」と書いて「まる」と読ませます。「あきらめない」「ぶれない」「こびない」の合い言葉に学び、みんなで手をつなぎ、あきらめないで中心がぶれなければ、「まる」になる。そしてそれは、どこにもこびないNPOという意味です。

(宮崎支部・小林市在住)